

普及現地情報

発信年月日：令和1年（2019年）11月25日

所属名：大津・南部農産普及課

番号：A19006

部門分類：340（鳥獣害）

発信者名：山中

ITCを活用してサル対策を地域で実践！

大津市の野生獣による農作物被害は柵の設置や集落ぐるみ対策の実践により減少傾向にあります。しかし、被害が再発している集落もみられ、特にニホンザルの被害対策の強化を求める声が根強く残っています。強化策としては行動を予測した追い払いが効果的ですが、いっどこで出没するかわからない状況で追い払わなければならないことが問題でした。

そこで、当課では被害再発集落においてサル被害を防ぐ方策として、三重県のNPO法人が開発された「サルどこネット」の導入と利用（無料）に関する支援を行っています。

本システムはサルを目撃したあとに携帯電話から目撃情報をリアルタイムで発信でき、群れの移動方向などを知らせることで先回りして組織的な追い払いにつなげるというものです。

今年の4月、栗原集落において、同集落に組織されている獣害対策委員会に通信システムの導入を提案しました。また、5月に通信システムを活用した追い払い研修会でサル追い払いルールの方針を策定し、6月は近隣の集落に参加を呼びかけシステム利用説明会を開き11名の賛同を得てテスト運用を始めました。

登録者を拡大するため、8月に対策委員会と共催で獣害対策研修会を開催し、現在では13名が利用されています。最初はシステムエラーなどもありうまくいかない時期もありましたが、1～2か月に1回の検証会議でその都度問題を克服し、今では同システムを利用した効果的なサル追いにつながっています。

10月に獣害対策委員会がシステム運用の責任者となることを決め、連合自治会への協力を要請するなど自主的な活動を行っておられます。今後は、この取り組みが継続されるよう要請に応じて支援していきます。

